

箱大会2019 ジュニア部門・総合部門 審査要項 第2版

初版公開日：2019年2月23日

更新日：2019年3月3日

作成者：クロ助

1 概要

1.1 適用範囲

本審査要項は以下の4部門に対して適用する。

- ・男子ジュニア部門
- ・女子ジュニア部門
- ・男子総合部門
- ・女子総合部門

1.2 部門説明

・出場条件

【男子ジュニア部門、女子ジュニア部門】

シガーボックスを始めてから2年6ヶ月以内の者

【男子総合部門、女子総合部門】

特になし

- ・チームでのエントリーは認めない。
- ・エントリー数が0の部門は当該年度の開催を中止する。
- ・演技順はエントリー締め切り後に公表する。
- ・同一人物がジュニア部門と総合部門の両方に出場することは認めない。
- ・ジュニア部門・総合部門に出場した者が、フリー部門にてチーム出場者の一員として出場することは可能である。

1.3 演技時間

演技時間は部門により異なる。各部門の最長演技時間を超えた、もしくは最短演技時間に不足している場合はその度合いに応じて減点を行う。

- ・ジュニア部門 2分～5分
- ・総合部門 3分～6分

演技開始前の準備と演技終了後の片付けは1分以内で行うこと。演者側でアシスタントを用意することを認める。但し、演技時間中にアシスタントが舞台上にはならない。

1.4 出場資格

使用する道具がシガーボックスであること。本大会におけるシガーボックスの定義を以下に示す。尚、舞台装置や小道具については、後述の「4 禁止事項」に抵触しない限り、特に制限は設けない。

- ・すべての面が長方形で構成されている直方体であること。
- ・直方体の最も短い辺が30mm以上、最も長い辺が360mm以下であること。
- ・磁力、電力等を利用した道具の使用を禁ずる。

上記に抵触する可能性がある場合、および、抵触した道具を使用したい者は、必ずエントリーの締め切り前に運営に申し出ること。対象者については、運営にて個別に出場可否の審議を行う。

2 審査基準

2.1 審査項目

審査項目は以下の4項目とする。

また別途「2.2 演技時間の超過及び不足による減点」を設ける。

- ・難易度 30点
- ・希少性 10点
- ・安定性 30点
- ・演出 30点

【難易度：30点】

演技全体で成功と判断できる技がどれだけ難しいかを評価する。

技単体の難易度の他、コンビネーションやバリエーション、技密度についても評価対象とする。ひっつけの角度や道具の保持方法、ストールやマニピレーションの精度など、その行為が難易度に寄与すると判断できれば、より高評価とする。

本項目では「希少性」に記載されている内容については評価対象外とするが、その内容が難易度に寄与すると判断できれば評価対象とする。

ジャグリング以外の技術については評価対象外とするが、ジャグリングと組み合わせることにより、ジャグリングの難易度が上がると判断できる場合は評価対象とする。

【希少性：10点】

演技中に使用された技の希少性を評価する。

技にオリジナル性や新規性があると判断できる場合も評価対象とし、斬新な道具の使い方や将来への発展性が認められれば、より高評価とする。

技自体は広く知られていても、使用するプレイヤーが少なく希少性があると判断できれば評価対象とする。

ただし、演出面などのジャグリングに関係しない内容の希少性は対象外とする。

【安定性：30点】

演技全体のジャグリング行為がどれだけ安定しているかを評価する。

ジャグリングに関する身体操作、マニピュレーションやシーケンス等の完成度の高さが演技の魅力を高めていると判断できる場合は、より高評価とする。

ドロップ・ミスは減点対象であり、ミス時のリカバリーについても評価対象とする。

【演出：30点】

演技の流れ、音楽、衣装、キャラクター、小道具、演技全体の魅力及び芸術性などを総合的に評価する。

これらは単体でも評価対象とするが、これらが調和することで演技の質が上がると判断できれば、より高評価とする。

使用される技単体は評価対象外とするが、その技の見せ方や流れにより演技の質が上がると判断できれば評価対象とする。

ジャグリングに関係のない技術もそれが全体的な演出をひきたてるものであれば、評価の対象とする。

2.2 演技時間の超過及び不足による減点

各部門の最長演技時間を超えた、もしくは最短演技時間に不足している場合はその度合いに応じて減点を行う。

演技時間は審査員とは別にタイムキーパーを設けて演技開始から演技終了までの時間計測を行う。

<演技開始>

- ・曲の開始
- ・演者が静止状態から演技、ジャグリングを始める

<演技終了>

- ・フィニッシュポーズ、もしくはお辞儀
- ・演技スペースからの退場

減点点数は超過及び不足した時間に応じて以下のように定める。

0秒以上5秒未満	-1点
5秒以上10秒未満	-4点
10秒以上15秒未満	-9点
15秒以上20秒未満	-16点
20秒以上25秒未満	-25点
25秒以上30秒未満	-36点
31秒以上	失格

2.3 ドロップカウント

演技中のドロップ数を数える者を審査員以外に設ける。

ドロップ数は審査点へ直接影響しないが、最終得点が同率の場合の判断に用いる。

3 審査方法

複数人の審査員が「2.1 審査項目」に準拠して採点を行う。
審査員が採点した得点を合計して審査員人数で割った得点から「2.3 演技時間の超過減点」を引いた得点を最終得点とする。
最終得点を降順に並べ替え、上位3名を入賞者とする。

最終得点が同点となった場合は以下の①>②>③の順で順位を決定する。

- ①演技時間の超過減点が少ない方を上位とする。
- ②ドロップカウントが少ない方を上位とする。
- ③審査員の協議により決定する。

部門の出場者が3人以下の場合、入賞するに相応しいかを該当部門の審査員にて審議した上で入賞および順位を決定する。（審査・審議の内容によっては入賞者なしもあり得る）

4 禁止事項

以下の行為を禁止とする。禁止事項に抵触した場合はその時点で失格とする。
演技内容が禁止事項に該当するかの判断は審査長が権限を持つものとする。

- ・火を使用した演出
- ・会場内の人々に危害を加える可能性のある行為
- ・会場を傷つける、あるいは、汚す行為
- ・公序良俗に反する演技、および、政治的・宗教的要素を含む演技

5 その他

- ・会場の照明操作は行えない。
- ・大会中の怪我や事故などに関しては運営では責任を負いかねる。
- ・大会会場内での盗難に関しては運営では責任を負いかねる。
- ・ここに記載されていない事柄の判断については、全て審査長の判断となる。
- ・運営が違反と認める行為が確認された場合は、運営の判断によりペナルティーを与える場合がある。抗議は受け付けられない。
- ・不明点などがあれば、エントリー締め切りまでに運営へ事前連絡すること。

■更新履歴

2019年2月23日 初版公開
2019年3月 3日 第2版公開

複数部門への同時出場に関する記述を追加

以上